

2017 年 10 月 30 日
ティントリジャパン合同会社

ティントリジャパン、小規模の VDI やサーバー仮想環境に最適な
コストパフォーマンスに優れたオールフラッシュ ストレージのエントリーモデルを発表

～ メインストリームの Tintri EC6000 と同じハードウェア アーキテクチャーと
オペレーティング システムを採用し、エントリーモデルでも安心して導入することが可能 ～

企業向けエンタープライズ クラウド プラットフォームのリーディング プロバイダーであるティントリジャパン合同会社（本社：東京都千代田区、職務執行者社長：河野 通明、略称：ティントリジャパン）は、スケールアウト オールフラッシュ ストレージのエントリーモデルである「Tintri T1000」を発表しました。この「Tintri T1000」は、これまでの Tintri EC6000 オールフラッシュ シリーズではカバーできなかった小規模の仮想環境に最適な、とても導入しやすいモデルとなります。今回の「Tintri T1000」の発表により、ティントリのオールフラッシュ ストレージは、仮想マシンが 100 台以下の小規模な仮想環境から、最大で 48 万台の巨大なエンタープライズ環境まで広範囲に対応することが可能となりました。

今回発表した製品は次のとおりです。

「Tintri T1000 オールフラッシュ アレイ」



「Tintri T1000」は、エンタープライズ モデルの Tintri EC6000 と同じハードウェア プラットフォーム、同じ OS および管理ソフトウェアを採用し、エントリーモデルであってもこれまでの Tintri と変わらない信頼性とバリューをお客様に提供します。「Tintri T1000」は論理実効容量で 10TB のフラッシュを搭載し、最大で 100 台の仮想マシンをサポートします。

Tintri T1000 の主な特長

- Tintri EC6000 と同様に、主要なハードウェアコンポーネントを 2 重化し、コントローラーはアクティブスタンバイ構成を取ることで堅牢性を保っています。ティントリ単一の OS である Tintri OS を搭載し、仮想環境に最適なストレージソリューションを提供します。
- レプリケーションおよびセキュリティのソフトウェアがあらかじめパッケージ化されており、データの遠隔地複製を日常的に利用することができます。データセンターに EC6000 を用意して、複数の拠点に設置した「Tintri T1000」のデータを集中的に EC6000 に複製するなどの運用が可能となります。また、遠隔地へのデータ複製をする際は、転送するデータを予め重複排除と圧縮することで、WAN 帯域を 95%効率化することができます。
- 企業内のさまざまな業務を最適化します。それぞれの仮想マシンのパフォーマンスに合わせてリアルタイムに適切なストレージリソースを割り当てます。この自動 QoS 機能により、ストレージ管理者の手を煩わすことなく最小限のコストで日々の運用を行うことができます。
- アプライアンスモデルでお客様に提供されます。全てのコンポーネントは予め適切に構成されており、納品されてから 30 分以内で本番運用することができます。
- Tintri クラウド コネクタを使用することで、Amazon Web Services (AWS) S3 などのパブリッククラウドへのデータバックアップを可能にします。

Tintri T1000 の利用用途

- 小規模な仮想デスクトップ環境、サーバー仮想化環境など、これまでは物理サーバーの内蔵ストレージや HCI（ハイパー コンバージド インフラストラクチャー）などで対応していたようなインフラストラクチャー運用を「Tintri T1000」に置き換えることで、運用コストと手間を大幅に削減するとともに安定したパフォーマンスが得られます。
- これまでは規模が小さいために躊躇していたような地方拠点でも導入が可能となります。ストレージ管理者の知識はあまり必要なく、どなたでも簡単にオールフラッシュ ストレージを運用することができます。
- エンタープライズ環境でティントリを導入するにあたり、事前に実環境にて検証やテストを行うニーズに対応します。検証テストを行った後は、「Tintri T1000」をそのまま実運用として利用できます。拡張する場合は、Tintri EC6000 シリーズを追加し、Tintri Global Center で集中管理することが可能です。

価格について

- 「Tintri T1000 オールフラッシュ アレイ」の主な仕様と価格は以下のとおりです。

モデル	物理実効容量	論理実効容量*	サポート VM 数	参考価格（税抜）
T1000	2TB	10TB	100	5,452,500 円

※ 論理実効容量は、インライン重複排除および圧縮を用いたデータ削減後の値です。シンプロビジョニングによる効果は含まれていません。

販売と出荷について

「Tintri T1000」は 2017 年 12 月より、ティントリの販売代理店経由にて販売ならびに出荷されます。

「Tintri T1000」製品写真（下記よりダウンロード可能です）

正面写真：<https://tintri.co.jp/file/t1000frontjpg>

参考情報

「Tintri T1000」関連情報：<https://tintri.co.jp/tintri-t1000>

【ティントリジャパン合同会社について】 <https://tintri.co.jp>

ティントリは、企業やクラウド サービス プロバイダーに、自社のデータセンター内にパブリッククラウド機能を提供するエンタープライズ クラウド プラットフォームを提供します。クラウド管理ソフトウェア、Web サービス、あらゆる種類のフラッシュ ストレージ システムを組み合わせたティントリは、俊敏性や自動化などのパブリック クラウド インフラストラクチャーの多くの利点を提供するだけでなく、機敏な開発環境を構築するために必要な管理と経済性も向上しますクラウド ネイティブ アプリケーションやミッションクリティカルなエンタープライズ アプリケーションを実行できます。企業はティントリ エンタープライズ クラウドをプライベート クラウドの基盤とし、アプリケーションのパフォーマンスを保証し、一般的な IT タスクを自動化して運用経費を削減し、コンピューティング、ストレージ、ネットワークのトラブルシューティングを行い、組織のニーズを予測します。ティントリは組織が複数のハイパーバイザー間で 1 台のシステムで数万の仮想マシンや混在したワークロードを容易にサポートできるようにします。また、組織はカスタマイズされたワークフローを開発し、業務を自動化することができます。ティントリは、サーバー仮想化、仮想デスクトップインフラストラクチャー、災害復旧とデータ保護、開発運用、または開発運用など、さまざまな用途に対応しています。ティントリを使用すると、数 TB から数十 PB まで簡単に拡張でき、マウスを数回クリックするだけでスピンアップ、アプリケーションの移動、トラブルシューティングを行うことができます。数日を要したトラブルシューティングは、ほんの数分で完了することができます。ティントリのエンタープライズ クラウドは、企業が市場投入のスピードを向上させ、IT を内部ビジネス グループのサービスとして提供するのに役立ちます。Comcast、Chevron、NASA、Toyota、United Healthcare、フォーチュン 100 の 20% を含むクラウド サービス プロバイダーと、エンタープライズ クラウドを導入している企業がティントリを信頼するのはこのためです。

【本件に関するお問い合わせ先】

企業名：ティントリジャパン合同会社

担当者名：マーケティング本部 広報担当 佐野 琴絵

TEL：03-6213-5403

Email: pr.japan@tintri.com